

- ◎愛 情：読み手と絆を深める
- ◎情 操：絵本が好きになり、豊かな人間性を育む
- ◎知 育：「想像力」「集中力」が育ち、読み書きへの関心が高まる

絵本が好きになるにしたがって、字を覚えたり絵を描いてみたりすることも多くなるでしょう。物語を楽しみ、想像する面白さをたっぷり味わうと、知的好奇心が膨らみ自分で読みたがるようになっていきます。絵本の読み聞かせは、読み手と聞き手の心のキャッチボールだけでなく、知育にも非常に有効なものといえます。



年齢別の目標

* 乳児 (0～2歳)

- 1期：絵と読み手の語り掛けに興味を覚え、絵本に関心を持つ。
- 2期：絵本を楽しむ好奇心が芽生える。
- 3期：絵と現実が体験を通して、少しずつ一致する。
- 4期：イメージが膨らみ、次のページに現れることを期待して見るようになる。

* 幼児 (3～6歳)

- 前期：色・形・大きさ・表情・音・動き・言葉を認識する
- 後期：色・形・大きさ・表情・音・動き・言葉を想像する



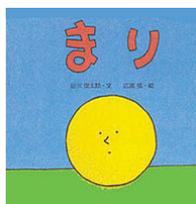
オススメ 絵本の一部を紹介します。

★ 読み聞かせ年間指導計画に合わせた絵本 (言葉・色・形)

(乳児から)

★ 『まり』

(クレヨンハウス)
作：谷川 俊太郎
絵：広瀬 弦



まりの動きに合わせていろいろな音で表現しています。幼児組になるとフレーズをまねして、音遊びを楽しめます。

★ 『もこもこもこ』

(文研出版)
作：谷川 俊太郎
絵：もとなが さたまさ



雨降りの続いたそらまめくん達の遊び場。やっと晴れたと思ったら、そこには大きな水溜りが・・・楽しく心温まるお話です。

★ 季節に合わせた絵本 (水・夏)

(幼児から)

★ 『そらまめくとめたかのこ』

(福音館書店)
作：なかや みわ



各月齢の絵本選びと 読み方のコツ

★ 生後4ヶ月～6ヶ月のお子様の場合

《絵本の選び方》

この時期の視力は、25cm先のものまでが見える程度です。ですから、絵本は絵が大きく、輪郭がはっきりしていて色も明るくはっきりしているものが適しています。

また、人間や動物の絵本なら正面を向いて2つ目がそろっているものが認識しやすくなります。聴覚は非常に発達しているため、絵本の内容がわかりやすく、身近なリズムのある言葉で書かれているものを選びましょう。

《読み方のコツ》

聴力が発達しているということを念頭において、体をゆすってリズムを楽しみながら絵本を読んだり、文章に節をつけて歌ったりしながら読みましょう。

また、絵本の中の登場人物を手や指などを使って演じてみることで、乳児の目線も動き、絵本の場面への関心を引き出すことができます。



病院・企業内受託保育サービスを提供
<http://www.coty.co.jp>



認可・認証保育所を展開
<http://www.grace-g.co.jp>



個育て支援型保育園を展開
<http://www.pumpkingarden.com>

ご利用のお申し込み・お問い合わせは

0120-552-415

フリーダイヤル ココニ ヨイコ

受付時間 月～金/9:00～18:00

本社：大阪府大東市泉町2-14-11
東京本社：東京都品川区東品川1-3-10-3F

